

重要課題への取組み

2020年に策定した「プロジェクトChange」の中で、近未来に創りあげたい社会を「自然と技術が調和する社会」とし、IHIグループが取り組むべき社会課題や提供できる価値を明確にしました。そして、取り組むべき社会課題とした、

脱CO₂、防災・減災、暮らしの豊かさの実現のために「重要なことは何か」という観点で、重要課題を特定し直しました。

このように特定された16個の重要課題についての主な取組みは、下表のとおりです。

▶ [重要課題の特定プロセス \(P13\) 参照](#)

▶ [「IHI Sustainability Data Book 2023」参照](#)

重要課題	考え方・方針	主な取組み	SDB※ 掲載ページ	
E	気候変動への対策	気候変動は、社会や経済に与える影響が非常に大きく、企業の持続可能性が問われる社会課題である。気候変動への対策は、IHIグループが取り組むべき社会課題と考え、気候変動の緩和と適応に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品・サービスによる気候変動への対策 (緩和, 適応) ● 事業活動によるGHG排出量の低減 	P92
	資源循環型社会の形成	持続可能な社会の実現に向けて、廃棄物や水資源を適切に管理し、資源効率の向上と環境負荷の低減に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物排出量の削減 ● 水資源の適正な管理 (水リスクの調査, 取水量の削減) 	P99
	地球環境の保全	環境法令の遵守と環境事故発生防止を最優先課題と位置付けている	<ul style="list-style-type: none"> ● 水質汚濁の防止 (排水の水質監視, 排水設備の保全) ● 土壌汚染の防止 (有害物質使用区域の特定) ● 生物多様性 	P102
S	人権の尊重	人権を尊重する企業文化の醸成と事業活動全般にわたる人権尊重の取組みを推進することで、あらゆる人々に対する人権尊重の責任を果たす	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権デュー・ディリジェンスの推進 (人権リスク評価と対策) ● お取引先に対するCSR調達モニタリング 	P49
	労働安全衛生水準の向上	安全と健康の確保は、事業活動の基盤であり、重要な経営課題のひとつと考えている	<ul style="list-style-type: none"> ● 「安全五原則」に基づく労働災害の撲滅 ● 心とからだの両面からの健康管理 	P55
	多様な人材の活躍	複雑化する社会課題を解決するには、多様なステークホルダーと連携・協同することが必要不可欠であり、そのための土壌として、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ● 変革への挑戦を評価する制度改革と風土醸成の推進 ● 従業員意識調査の実施, エンゲージメントの向上 	P62
	働き方改革, 業務プロセスの改革	働くことに対する価値観が多様化している現在において、さまざまな価値観に対応した魅力ある職場を提供することが企業にとって重要であると考えている	<ul style="list-style-type: none"> ● 働きやすい職場を実現するための仕組み, 制度の導入 ● 新たな価値やイノベーションを生み出すためのコミュニティの設置 	P77
	お客さまとの関係強化	安全に十分配慮して、「お客さまから満足と信頼の得られる社会的に有用な製品・サービスを提供し、社会の発展に貢献すること」を基本とする	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品開発時のリスクアセスメントによる製品安全の確保 ● 顧客満足度調査の実施, 分析, 改善活動 	P78
	サプライチェーン・マネジメントの強化	公平・公正な取引, お取引先との相互繁栄, 法令の遵守と社会的責任への対応を3つの柱とする「IHIグループ調達基本方針」を基に調達活動を行なう	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンの強靱化 ● 「IHIグループ取引先行動指針」の策定とCSR調達モニタリング 	P80
	地域社会との共存共栄	社会の期待に応えることを企業の社会的責任と考え、社会貢献活動に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代人材の育成のための出前授業, SDGs教育 ● 事業所隣接地域の環境保全 	P82
G	コーポレート・ガバナンスの強化	コーポレート・ガバナンスを、IHIが本来有する力を最大限に発揮するように経営の効率性を高め、持続的成長と企業価値の最大化を担保するシステムと定義して、業務の適正を確保している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会の実効性評価と結果の反映 ● 社外取締役・社外監査役の実効性向上のためのバックアップ 	P15
	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスは、社会の中で企業が活動を行なうための基盤となるものであり、法令や社内規定などのルールを守り、企業人として公正かつ責任ある行動をとる	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス・ホットラインの運用 ● 税務コンプライアンス ● 競争法・贈賄禁止法の遵守 ● 安全保障貿易管理 	P27
	リスク管理の徹底	リスク管理を経営の最重要課題のひとつとらえ、「IHIグループ基本行動指針」に基づき、リスク管理を行なっている	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会によるリスク管理活動のレビュー ● プロジェクトリスクマネジメント ● 事業継続計画 (BCP) の策定, 継続的な見直し 	P35
	イノベーション・マネジメント	自然と技術が調和した社会を目指し、新しい価値を継続的に提供していく技術開発に挑戦する	<ul style="list-style-type: none"> ● 注力する分野への研究費・人的リソースの集中 ● 官民連携, 産学連携の推進 ● 知的財産の事業活動への活用・保護 	P40
	情報セキュリティの強化	お客さまやお取引先の機密情報, 会社の経営情報や技術情報などを確実に保護するために、情報の適正な管理と情報セキュリティの維持・向上に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティのリスクに、ルール・ツール・教育の側面から対策 ● 情報セキュリティ対策レベルの定量的評価 	P45
	適時・適切な情報開示	企業活動をする上で影響の大きい、お客さま, お取引先, 株主・投資家, 行政, 地域社会, 従業員, NPO・NGOを主要なステークホルダーととらえ、積極的に対話する	<ul style="list-style-type: none"> ● 決算説明会, 個別ミーティングなどによるステークホルダーとの対話 ● 「統合報告書」による情報開示と対話ツールとしての活用 	P18, P79

※SDB: IHI Sustainability Data Book 2023